

# 図書だより 1月号

学校図書館司書 今井真子



少し長い冬休みが終わり、3学期がはじまりました。1月、2月、3月はすぐに終わってしま

います。やり残したことがないように、さいごまでがんばりましょう。

2学期のおわりに、あたらしい本が少し来しました。見てくださいね。「あたらしくきた本」コ

ーナーにないときは予約をしてください。



あたらしい本がきました！ 一部を紹介します

『パンダはどうしてパンダになったのか？ 800万年生きた進化の歴史』  
方盛国 著

今から800万年～300万年まえのパンダは、今のパンダとはまったく異なる姿でした。キツネほどの大きさで、集団でえものに襲いかかっていたそうです。どのようにして、今のようなパンダになったのでしょうか。

パンダはどうして  
パンダになった  
のか？

絵で見てわかる！  
世界の国ぐに

『絵で見てわかる！ 世界の国ぐに』 山口 正 監修

世界の国ぐにのようすがわかります。地理やくらしのランキング、国旗の意味、国が成り立つ条件の説明などもあり、とても興味深いですよ。イラストや写真が多く、楽しみながら学べます。

『ぼくのねこ』 鈴木 のりたけ 作・絵

「まいにち おなじもようじゃ つまらない」というわけで、いろんなねこがとうじょうします。どんなねこがいるかな？

ぼくのねこ

『おもちゃ屋のねこ』 リンダ・ニューベリー 作

ある日、ハティの太おじさんのおもちゃ屋にやってきたのは、明るい緑色の目をしたねこでした。ねこは、きもちよさそうにショーウィンドウの中で寝ていました。でも、そのねこが来てからは、ふしぎなことが起こるようになりました。

おもちゃ屋の  
ねこ

しごとへの道

『しごとへの道 1』 鈴木 のりたけ 作

この本には、パン職人、新幹線運転士、研究者の仕事のことがマンガで物語のように紹介されています。それぞれモデルの人がいて、一日の仕事の流れや、なぜこの仕事を選んだか、どんな勉強をしたのかなどが書かれています。同じシリーズで2巻目も、もうすぐ入ってきます。

## 南花台小 慣用句クイズ

クイズができれば、学校図書館まで持ってきてください。参加賞があるよ。

ねん くみ なまえ

慣用句と意味を線でつないでください。

のどから手がでる

すすめのなみだ

さじをなげる

は歯にきぬをきせない

ものごとが、これ以上よくなる  
見込みがないので、あきらめる  
こと

遠慮しないで、思ったことを  
素直に言うようす

金額や物の分量が、ごくわずか  
なこと

欲しくてたまらないようす

慣用句とは、2つ以上のことばが決まった形でむすびついて、全体で特別の意味をあらわすようになったことばのひとまとまりのこと。（『総合百科事典ポプラディア』より）

きりとりせん